

# 札証IR個人投資家向け

会社説明会

UBE株式会社(東証プライム:証券コード4208) 代表取締役 常務執行役員 CFO、CRO 石川 博隆

2025.10.8 (水)







- 2 UBEグループの経営戦略
- 3 主要スペシャリティ事業の成長戦略
- 4 機械事業及びセメント関連事業の株式上場
- 5 業績推移・資本政策・その他









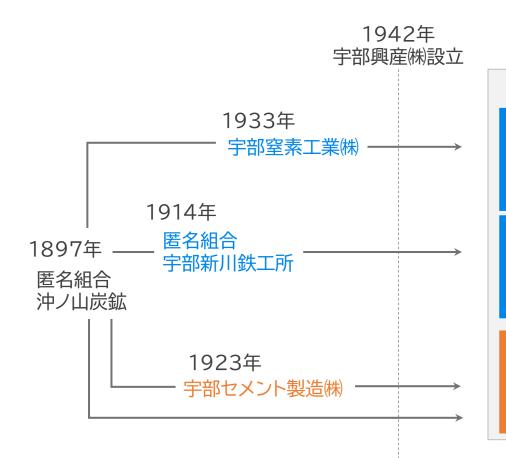
創業の地 山口県宇部市 工場群

社名	UBE株式会社 ※ 2022年4月に宇部興産株式会社から商号変更							
創業設立	1897年6月 1942年3月							
資本金	584億円 (2025年3月末)							
本社	東京都港区							
連結従業員数	7,563人 (2025年3月末)							
売上高 営業利益	4,868億円 (2025年3月期) 180億円 (2025年3月期)							
事業内容	化学品の製造・販売 機械の製造・販売							





#### 2022年度 セメント関連事業を分社化 UBE㈱へ商号変更



2021年度 連結売上高 6,553億円

#### 宇部興産株式会社

化学事業

売上高\*<sup>1</sup> 3,415億円



機械事業(宇部興産機械㈱グループ)

売上高\*<sup>1</sup> 970億円



セメント関連事業

売上高 2,215億円



三菱マテリアル株式会社セメント関連事業

2024年度 連結売上高 4,868億円

#### UBE株式会社

化学事業

売上高\*<sup>2</sup> 3,868億円



機械事業(UBEマシナリー㈱グループ)

売上高 869億円



#### UBE三菱セメント株式会社

50%持分法適用関連会社

セメント関連事業 国内セメント業界第2位

親会社に帰属する当期純利益303億円



- \*1 2021年度時点のセグメント区分に基づく数値
- \*2 機能品セグメント、高機能ウレタンセグメント、医薬セグメント、樹脂・化成品セグメントの単純合算

# UBEグループの概要 一事業



#### セグメント

(2025年度 売上高/営業利益 予想)

#### 主要製品

#### 用途例

#### 機能品

710億円 / 135億円

#### 高機能ウレタン

510億円 20億円

#### 医薬

240億円 10億円

#### 樹脂·化成品

2,570億円 60億円

#### 機械

65億円 760億円

#### その他

355億円 20億円 ポリイミド

分離膜

セラミックス

セパレータ



分離膜

ウレタンシステムズ

高機能コーティング



高機能コーティング製品 (PCD, PUD)

創薬研究

CDMO

コンポジット

ナイロンポリマー

カプロラクタム・硫安

工業薬品

ナイロンペレット

C1ケミカル

エラストマー(合成ゴム)

成形機

産業機械



射出成形機

電力(自家発電)

その他販売子会社等

大型液晶ディスプレイ、フレキシブル有機ELディスプレイ

バイオ燃料(バイオメタン)精製

軸受、放熱基板(電動車向け)

リチウムイオン電池セパレータ(電動車向け)

鉱山機械、半導体製造装置

人工皮革、水系塗料

創薬研究

原薬・中間体の製造、プロセス開発

自動車部材

食品包装用フィルム

衣料用ナイロン繊維・肥料

化学品の原料

リチウムイオン電池電解液

自動車用タイヤ



運搬機、ミル、橋梁

自家発電、余剰電力の売電



# UBEグループの概要 -事業ドメイン



モビリティ				エネルギ	ー・サステナビリティ		
自動車電動	か化・軽量化	高機能化	再生可能エネルギー	蓄電池			
セラミックス 軸受・基板	<b>セパレータ</b> LiB*1セパレータ	高機能コーティング 合成皮革(自動車内装材) 水系塗料(外装塗料)	<b>分離膜</b> バイオ燃料製造	<b>分離膜</b> 油田・ガス田 防爆ガス製造	ポリイミド LiB* <sup>1</sup> 負極用バインダ (車載・民生)		
C1ケミカル (DMC・EMC) LiB*1電解液	コンポジット 自動車軽量化 (金属部材置き換え)	<b>ウレタンシステムズ</b> タイヤ・ホイール	<b>ウレタンシステムズ</b> 鉱山機械 ガスパイプライン		鉱山機械		セパレータ AIデータセンター用 LiC*2セパレータ
*1 リチウムイオン電池		エラストマー タイヤ	*2 リチウムイオンキャパシタ		C1ケミカル (DMC・EMC) ESS等LiB*1電解液		
情報電子					暮らしと健康		
デジタル機器	半導体	本産業	生	医療			
<b>ポリイミド</b> 液晶/有機EL ディスプレイ材料	フェノール <b>樹脂</b> 半導体封止材	<b>半導体ガス</b> 配線エッチングガス	高機能コーティング 合成皮革(家具・衣料品) 水系塗料(床材等)	<b>ナイロンポリマー</b> 食品包装フィルム	<b>医薬</b> 医薬品		
	ウレタンシステムズ 半導体製造装置部材	<b>半導体用高純度薬品</b> 洗浄液	<b>カプロラクタム</b>				







宇部事業所 宇部ケミカル工場 宇部研究所 医薬研究所

名古屋支店



UBEエラストマー㈱千葉工場 みらい技術研究所



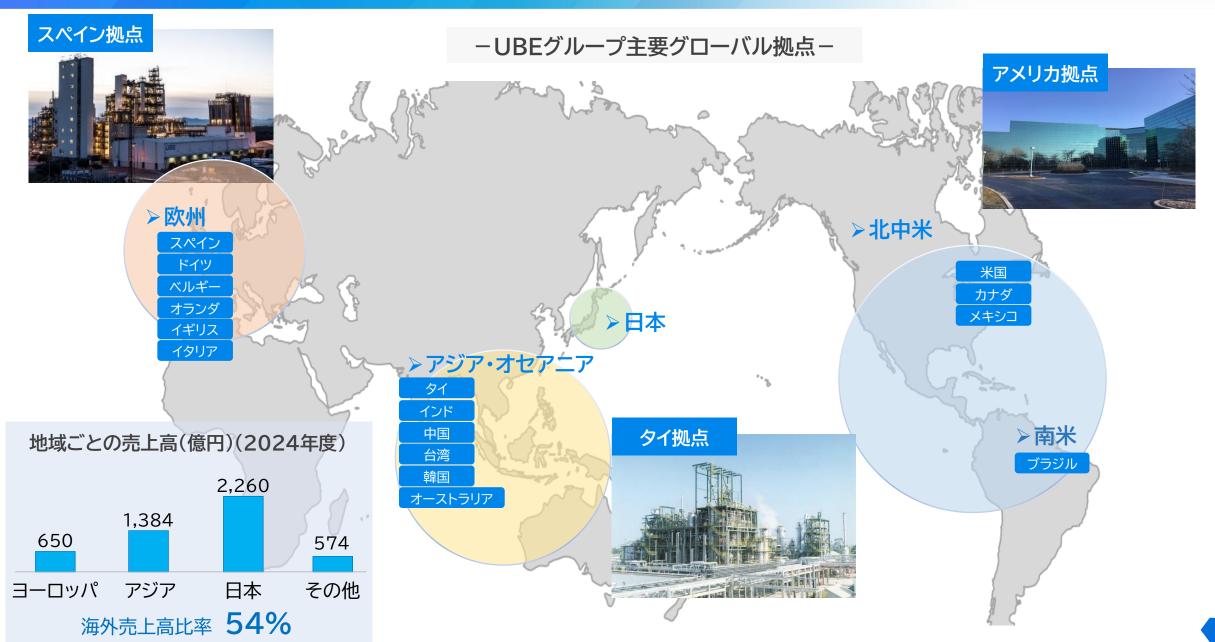
吉富工場

堺工場 大阪研究開発センター



# UBEグループの概要 - グローバル展開









UBEグループの経営戦略

中期経営計画 「UBE Vision 2030 Transformation -2nd Stage-」

# UBEグループの経営戦略 -中期経営計画のポイント



# UBEグループ中期経営計画「UBE Vision 2030 Transformation -2nd Stage-」

UBEグループの「2030年の目指す姿」と、これを実現するための2025~2030年度の6ヵ年の行動計画。

#### マテリアリティ

スペシャリティ事業の拡大 ・ 多様な人財の活躍 ・ 労働安全・保安防災 ・ 地球環境問題への対応 ・ 誠実で公正な企業統治

#### 中期経営計画における施策

# 2030年の目指す姿

- 1. スペシャリティ事業の成長
  - 既存事業の成長加速:ポリイミド、分離膜、セラミックス等生産能力増強。
  - 新たな事業の立上げとシナジー創出:米国DMC・EMC、ウレタンシステムズの早期収益貢献。
  - 新たな事業の獲得:研究開発、M&A(既存事業周辺、スタートアップ)。
- 2. アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーの構造改革
  - 業績のボラティリティ低下、GHG削減。
- 3. 機械事業、セメント関連事業は自立化の最終ステージとして株式上場を目指す
- 4. サステナビリティ経営の深化
  - 人財、地球環境問題、ガバナンスと内部統制。
- 5. 資本政策
  - 財務規律の維持、DOE2.5%以上(累進配当を目指す)。

地球環境と人々の健康、 そして豊かな未来社会に 貢献する スペシャリティ化学企業

DXへの 取組み

グローバルで 成長 数値目標

EBITDA 1,000億円以上

ROS

10%以上

ROE

8%以上

ROIC

6%以上



不確実性の高まる事業環境の中で、経営構造改革を計画的かつ確実に実行するため、

中期経営計画は6カ年で策定。

売上高

ROE

営業利益

-2nd Stage-投資効果の発現と更なる成長施策の推進 (2030年度) 売上高 5,500億円

> 600億円 営業利益

ROE 9% 2035~2040年度

売上高 1兆円 営業利益 1,000億円

ROE 10%以上

営業利益の 拡大

~2021年度 -

売上高の

伸び

- 2022~2024年度。

~1st Stage~

種蒔きと構造改革

(2024年度)

4,868億円

180億円

△1.2%

2025~2030年度

2035~2040年度

-- ポートフォリオの変革・

化学 化学 機械 機械 セメント関連

スペシャリティ化学





# 事業ポートフォリオ -

市場の成長期待、UBE グループの強み、収益性、資本効率等を踏まえて策定した現時点での事業ポートフォリオ。 これに基づき経営資源を配分する。ただし、事業ポートフォリオ内の各事業領域の位置付けは適宜見直す。

事業ポートフォリオ区	分	対象事業領域
スペシャリティ事業	高収益·高成長	<u>ポリイミド</u> 、 <u>分離膜</u> 、セラミックス
技術力やバリューチェーンにおける当社 の強みをベースに付加価値を創出し、 高収益性を実現できる事業。	戦略的拡大	フェノール樹脂、半導体ガス、セパレータ、高機能コーティング、 ウレタンシステムズ、医薬、 <u>C1ケミカル</u> 、半導体用高純度薬品
高収益性を実現できる事業。 今後一層の成長・拡大を目指す。	安定収益・ 高キャッシュフロー	エラストマー、ポリエチレンフィルム
構造改革事業 ROS、ROIC が低く、合理化・事業の立て 徹底的なコスト削減・販売価格是正等、損 抜本的な対策を推進し、スペシャリティ事 諸対策によっても損益が改善しない事業	益回復に向けて  業へ移行させる。	ナイロンポリマー、コンポジット、カプロラクタム・硫安、工業薬品、 樹脂加工品



# UBEグループの経営戦略 - 中期経営計画 スペシャリティ事業の成長投資



ポリイミド、分離膜、セラミックス、C1ケミカル等の新製造設備を着実に稼働。買収したウレタンシステムズ事業を確実に統合。 シナジー創出を含めグローバルに収益を拡大。本中期経営計画においてもスペシャリティ事業への積極投資を継続。

(年度)

				 戦略	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
			1.00 (1)4	<b>半</b> X岬首				2021	2026	2029	2030	
	ポリイミド	• 原料製造設備	60%增	・ 新規開発品の上市	•	稼働開始						
	11.71	• フィルム製造設備	20%增	• 設備投資効果の最大化		▼ 稼働	動予定					
	八点化中	<ul><li>中空糸、モジュール製造設備</li></ul>	80%增	・ 環境・エネルギー分野の事業拡大		▼ 稼働	動予定					
	分離膜	・ 中空糸、モジュール製造設備	増設	• モジュールの改良・開発、新規膜開発				•	着工予定			
	L= > A=	<ul><li>セラミックス製造設備</li></ul>	50%增	・ 軸受と基板向け拡販による事業拡大		•	稼働予定					
[ ]	セラミックス	• セラミックス製造設備	増設	• 新製品・新グレードの開発				▼着	工予定			
f	フェノール	• フェノール樹脂製造設備	20%增	• 高機能・高品質な製品で半導体市場	▼稼	動開始						
	樹脂	• フェノール樹脂製造設備	増設	の成長へ貢献						▼着工予	定	
	セパレータ	<ul><li>セパレータ製造設備</li></ul>	30%増	・ HEV向け案件の獲得でシェア向上			▼稼賃	動予定				
				• 非車載用途での展開								
	<b>声</b>	• 米国PCD製造設備	新設	<ul><li>PCD・PUDを中核に更なる成長・</li></ul>			▼着工予	定			▼着工予	定
	高機能 コーティング	<ul><li>タイPCD製造設備</li></ul>	増設	スペシャリティ化			▼着工予	定	▼着工予:	定		
	J 7127	<ul><li>タイPUD製造設備</li></ul>	新設	• ウレタンシステムズとのシナジー創出					▼着工予:	定		
	医薬	• 第六医薬品工場	新設	<ul><li>ライフサイエンス事業への展開</li></ul>					▼着工予:	定		
	エラストマー	• エラストマー製造設備	増設	• 高付加価値化を推進							▼着工	予定
	C1ケミカル	• 米国DMC·EMC工場建設	DMC10万トン EMC4万トン	<ul><li>・ 米国唯一の工場として、安定生産・ 安定供給</li></ul>			▼ 移	<b>対動予定</b>				
斤見	ウレタン システムズ	<ul><li>ウレタンシステムズ事業取得</li></ul>	新規事業 取得	<ul><li>高度で多様なソリューションを提供</li><li>C1ケミカル、高機能コーティングとのシナジー発現</li></ul>		▼ 事業取	得					
,	M&A等											

# UBEグループの経営戦略 - 中期経営計画 事業構造改革



# アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーの構造改革について、海外事業も対象とし、かつ前倒しの実施を決定

#### 構造改革の背景

- 対象事業は近年の中国企業の供給過剰で事業環境が想定 を超えて悪化、将来にわたり回復を見込み難い。
- 対象事業は収益性が低く、かつ景気変動の影響を受けや すい。
- 2022年5月発表(前中計)時点では、国内アンモニアと国内カプロラクタムを2030年までに停止する想定だった。

#### 実施する施策

- 海外事業にも対象を広げ、かつ停止時期を前倒しへ
- ✓ 日本2028年3月 アンモニア停止2027年3月 カプロラクタム、ナイロンポリマー停止
- ✓ タイ 2026年3月 カプロラクタム停止、ナイロンポリマー縮小

#### 期待する効果



# 業績の安定化、収益性の改善

→市況(損益)変動が大きく、収益性も低下した対象事業が業績に与える影響を抑制



# GHG排出量を大幅削減、2030年度削減目標(2013年度比50%削減)を前倒しで達成へ

→GHGを多く排出する対象事業の稼働停止により、持続可能な社会の実現に貢献





# 主要スペシャリティ事業の成長戦略



ポリイミド



分離膜



C1ケミカル



高機能ウレタン





# 製品特性・強み

- ポリイミドは強度と耐熱性に優れた樹脂
- UBEは自社原料と独自の成形加工技術により差別化された 特徴のある製品を提供
- 液晶ディスプレイ用途で世界トップシェアを有している

### 用途例

• 大型液晶ディスプレイ向け







・ フレキシブル有機ELディスプレイ向け



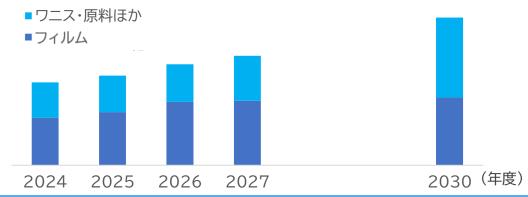
ワニス (ポリイミドの前駆体溶液)



# 市場見通しと中期経営計画の重点施策

- 液晶ディスプレイは緩やかな成長が継続。当社のグローバルシェアは高水準を維持。
- 有機ELディスプレイはスマートフォンに加え、 PC・タブレッド、車載用途でも採用拡大の見通し。 当社品は米国スマートフォン、中国ハイエンドスマート フォンで採用継続。
- 原料とフィルムの能力を増強、効果の刈り取りへ
- 次世代ディスプレイ材料、モビリティや半導体向けの 新規材料の開発を推進





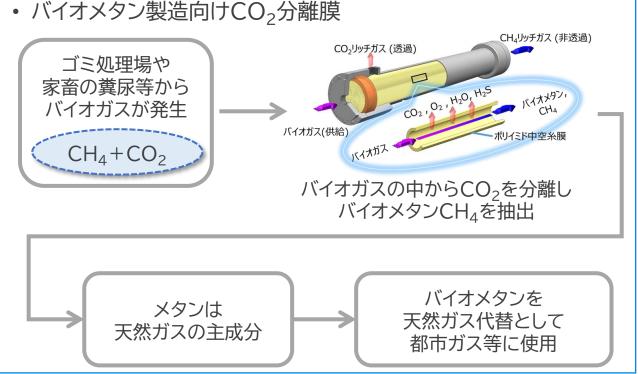




# 製品特性・強み

- 混合ガスから特定のガス(CO2、窒素など)を分離・抽出する膜
- 独自のポリイミド技術による優れた耐久性、ガス透過・分離性
- グローバルで200プラントを超える採用実績

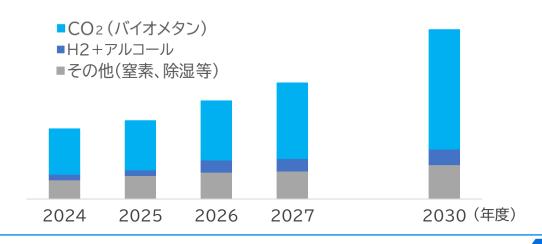
# 用途例



# 市場見通しと中期経営計画の重点施策

- 中長期的に欧州、北米でのバイオメタン需要は拡大。
- アジア・南米でも環境配慮規制・政策の導入機運。
- バイオメタン製造向けCO2分離膜を軸に事業規模拡大。 中空糸膜・モジュールの新製造設備を設置。
- 耐久性が高い長寿命製品を開発するとともに、 次世代の環境・エネルギー市場を開拓。

#### - 分離膜の売上高推移 -







# 製品特性・強み

- DMC・EMCはリチウムイオン電 池の電解液溶剤の主要成分。
- ・ 独自製法によりコスト競争力に 優れ、かつ高純度
- サプライヤーはUBEグループと 中国企業のみ



# 新プラント建設の狙い

- 米国はDMCをUBEグループか中国からの輸入に依存。
- 米国の安価な天然ガスを活用し高いコスト競争力を実現。
- ・米国初かつ唯一のサプライヤーとして米国需要を獲得。



#### ▶ ルイジアナ州は 立地、原料、輸送で優位

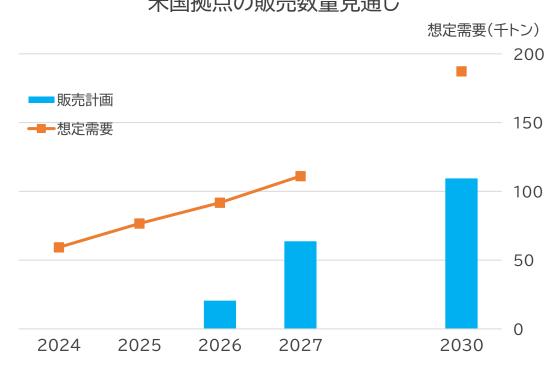
- ✓ 電解液メーカーへのアクセスが良好。
- ✓ 工業団地から安価な天然ガスを入手。
- ✓ 河川運搬や、鉄道輸送網を活用。

# 市場見通しと中期経営計画の重点施策

2030年度 売上高400億円 を目指す。

→UBEグループ最大の成長事業へ

米国におけるDMC・EMC需要見通しと 米国拠点の販売数量見通し



# 主要スペシャリティ事業の成長戦略 - 高機能ウレタン: ウレタンシステムズ





#### 高度で多様なソリューションを提供可能

- 1) 業界屈指の製品ラインナップ
- 2) 米国シェアNo.1、グローバルトップクラス

PUD (ウレタン系塗料原料)

- 3) 70年以上の実績、高い専門知識とノウハウ
- 4) グローバルでの生産・開発拠点
- 5) 環境負荷低減技術

#### ウレタンシステムズ事業の貢献分野

先端産業から産業機械、スポーツ用品まで幅広い分野に貢献



半導体製造

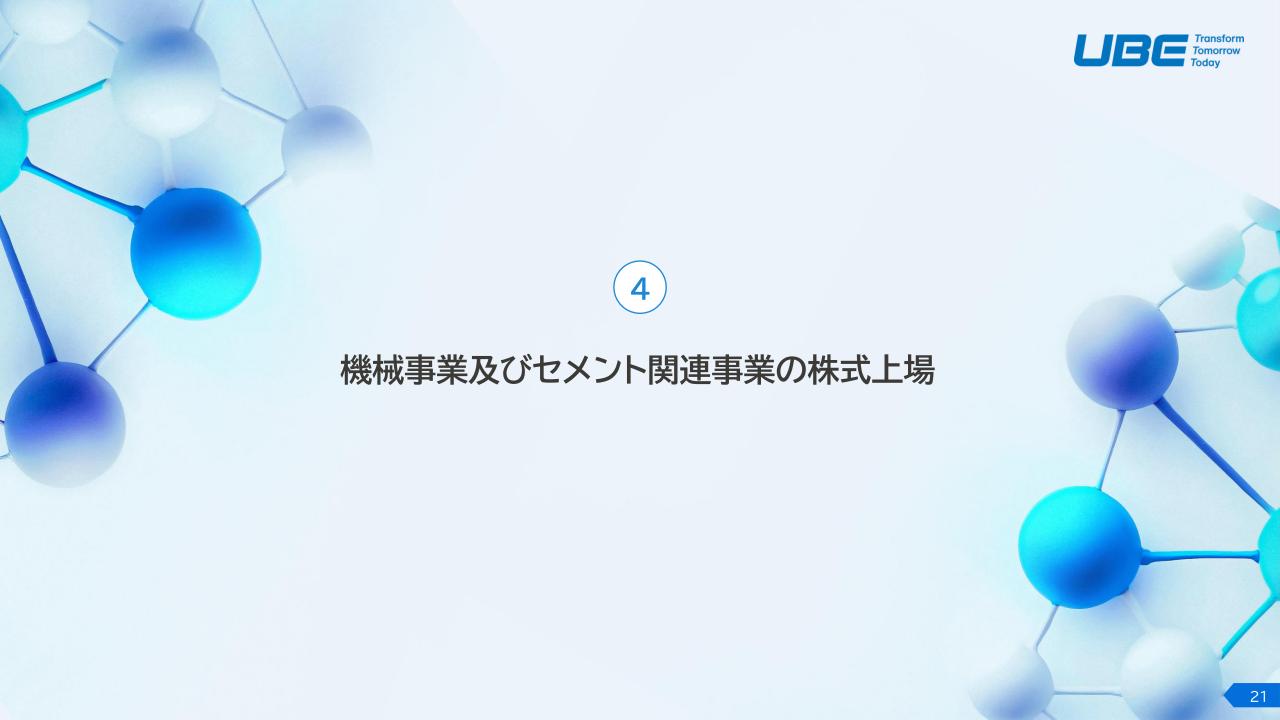
鉱山機械/物流機器





作業車両

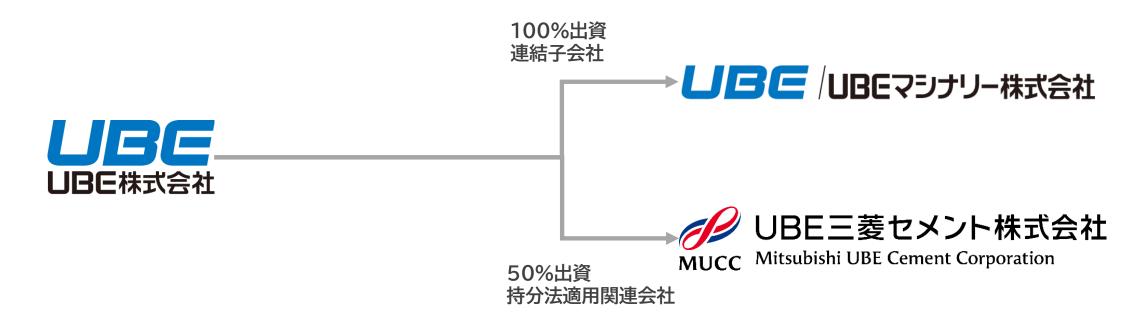
パイプライン







# 機械事業とセメント関連事業について、中期経営計画期間中の株式上場に向けた準備を開始



# ← 株式上場の狙い

- ▶ UBEにとっては…
  - ポートフォリオ改革を遂行。
  - スペシャリティ化学企業としての成長に集中。
  - 上場に伴うキャッシュインを期待。

#### ▶ UBEマシナリー、UBE三菱セメントにとっては…

- 自律的、機動的な運営体制へ移行。
- 変化の激しい事業環境への対応力を高め、 それぞれが企業価値の向上を目指す。





# UBEマシナリー㈱で手掛ける機械事業。機械製品の販売に加えアフターサービスに注力し、安定した収益を獲得。

#### 成形機

- 自動車等の大型部品を 生み出す成形機
- 自動車の電動化など時代の ニーズに応える成形機を開発



#### 産業機械

- 発電所等で使用される大型の 産業機械
- 洋上風力発電関連設備など 環境新市場へ参入



#### Topic:ギガキャスト用超大型ダイカストマシン



「ギガキャスト」対応の超大型マシン。複数の部品で構成される自動車の車体 (アンダーボディ)などを1つの部品として一体成形することを可能にする。

#### ➤ UBEマシナリー機の強み/狙い

- ・ 独自の技術による高速、高充填、高速立ち上がりを実現。
- イニシャル投資額のみでなく、ランニングコストの低減を訴求。

#### ギガキャスト市場見通し-日系自動車メーカーの計画







# 国内セメント事業の基盤を強化し、創出されるキャッシュ・フローを成長事業に集中投下。

#### 米国事業を中心とした成長

- ▶ 成長ドライバーとしての米国事業
  - 適正価格の維持と骨材資源の確保により収益基盤を強化。
- > 国内基盤の安定化推進
  - セメントの価格改定と熱エネルギーコストの低減を推進。
- ➤ GHG排出量削減の取組み
  - カーボンニュートラルの業界トップランナーを目指す。



米国三菱セメント社 クッシェンベリー工場 プラント



ロバートソン・レディ・ミックス社 ミキサー車(米国生コン事業)

#### UBE三菱セメントグループ業績推移

➢ 縮小する国内市場においても価格是正等により安定した 利益を獲得しながら、海外事業をドライバーとした成長を 目指す。







# 業績推移・資本政策・その他 - 中期経営計画 全社数値計画(1)



# > スペシャリティ事業の成長と機械事業及びセメント関連事業の自立化に取り組み、EBITDA 1,000億円以上等の目標を目指す。

(単位:億円)

	2024年 実績	2025年度	2026年度	2027年度	2030年度
売上高	4,868	4,900	5,450	5,450	5,500
EBITDA	455	550	700	800	1,150
営業利益	180	250	320	400	600
経常利益	224	375	415	450	650
特別損益	∆333	△20	△20	∆35	△55
構造改革費用	∆313	_	_	∆30	△55
親会社株主に帰属する当期純利益	△48	275	300	370	450

# 2030年度目標 主要項目 EBITDA 1,000億円以上 売上高営業利益率 (ROS) 10%以上 自己資本当期 純利益率(ROE) 8%以上 投下資本利益率 (ROIC) 6%以上

#### スペシャリティ事業の成長

- スペシャリティ事業をグローバルに展開し、成長を加速。
- アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーは生産撤退・縮小。 設備の解体・撤去費用を特別損失として計上。

#### ▋機械事業及びセメント関連事業の自立化

- UBEマシナリー社、UBE三菱セメント社は、本中期経営計画期間中に 株式上場を目指す。
- これにより営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は減少するものの、スペシャリティ事業の成長がこれを上回る。

# 業績推移・資本政策・その他 - 中期経営計画 全社数値計画(2)



#### ▶ 財務の健全性を維持しつつ、スペシャリティ事業への成長投資を加速。

(単位:億円)

2024年度 実績	2025年度	2026年度	2027年度	2030年度
8,657	9,500	10,050	10,300	9,500
3,951	4,100	4,300	4,550	5,150
3,305	3,800	4,100	4,200	3,000
0.84	0.93	0.95	0.92	0.58
				(単位:%)
9.3	11.2	12.8	14.7	20.9
3.7	5.1	5.9	7.3	11.0
△1.2	6.8	7.1	8.4	9.0
3.0	4.4	4.8	5.2	7.0
	実績 8,657 3,951 3,305 0.84 9.3 3.7 △1.2	実績     2025年度       8,657     9,500       3,951     4,100       3,305     3,800       0.84     0.93       9.3     11.2       3.7     5.1       △1.2     6.8	実績     2025年度     2026年度       8,657     9,500     10,050       3,951     4,100     4,300       3,305     3,800     4,100       0.84     0.93     0.95       9.3     11.2     12.8       3.7     5.1     5.9       △1.2     6.8     7.1	実績     2025年度     2026年度     2027年度       8,657     9,500     10,050     10,300       3,951     4,100     4,300     4,550       3,305     3,800     4,100     4,200       0.84     0.93     0.95     0.92       9.3     11.2     12.8     14.7       3.7     5.1     5.9     7.3       △1.2     6.8     7.1     8.4

#### \_2030年度目標 ----主要項目

EBITDA 1,000億円以上

売上高営業利益率 (ROS) 10%以上

自己資本当期 純利益率(ROE) 8%以上

投下資本利益率 (ROIC) 6%以上

#### ▮バランスシートの健全性

• 積極的な投資により一時的にバランスシートに 負荷がかかるものの、財務規律を堅持。

#### 経営指標の向上

- スペシャリティ事業の成長によってROEが改善、 2027年度に8%超、2030年度に9%へ。
- EBITDA、ROICも経営指標として重視。



# 業績推移・資本政策・その他 - 中期経営計画 セグメント別数値計画



(単位:億円)

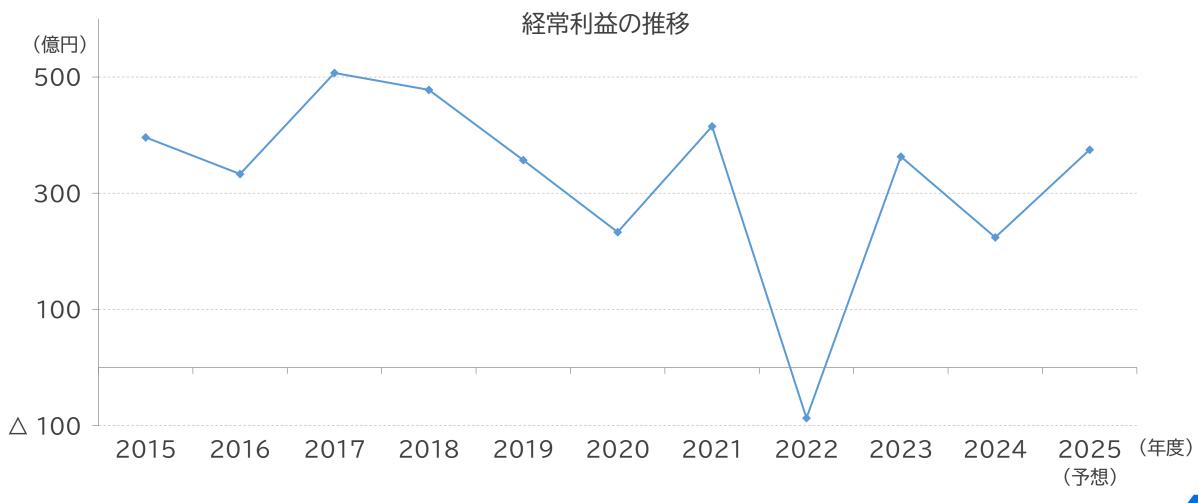
							(半位・18円)			
	2024年	度(実績)	2025年度		度 2026年度		2027年度		2030	D年度
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
機能品	662	117	710	135	820	155	890	195	1,125	300
高機能ウレタン	156	Δ2	510	20	670	30	690	35	800	65
医薬	315	12	240	10	250	10	270	15	340	45
樹脂·化成品	2,736	△7	2,570	60	2,790	100	2,635	120	2,650	215
機械	869	79	760	65	785	65	825	75	_	_
その他	392	21	355	20	390	20	395	20	840	55
調整額	△261	∆38	△245	△60	△255	△60	△255	△60	△255	△80
合計	4,868	180	4,900	250	5,450	320	5,450	400	5,500	600
(参考)スペシャリティ事	業と構造改革	<b>草事業の比率</b> *	:							(単位:%)
スペシャリティ事業	50	100	50	85	55	70	60	70	75	85
構造改革事業	50	(損失)	50	15	45	30	40	30	25	15

<sup>\*2024</sup>年度数値は新しいポートフォリオ区分で組み替えたもの





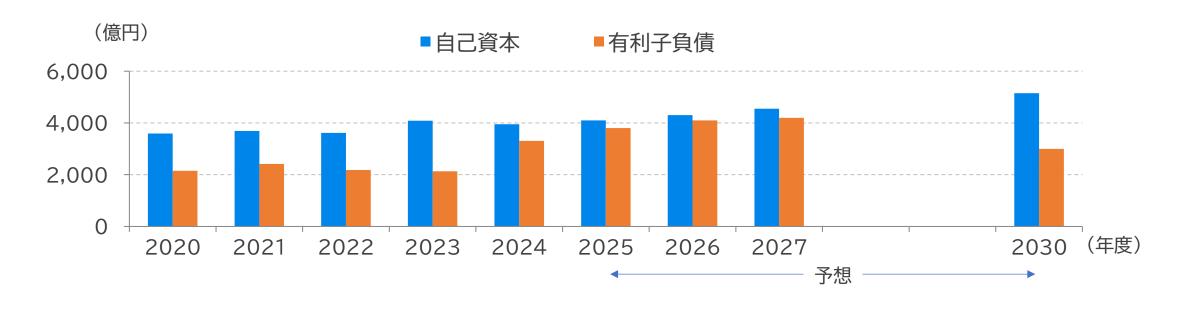
過去10年間において、セメント関連事業が石炭価格高騰等の影響を受け多額の損失を計上し赤字となった 2022年度を除き、不況下においても着実に利益を確保している。

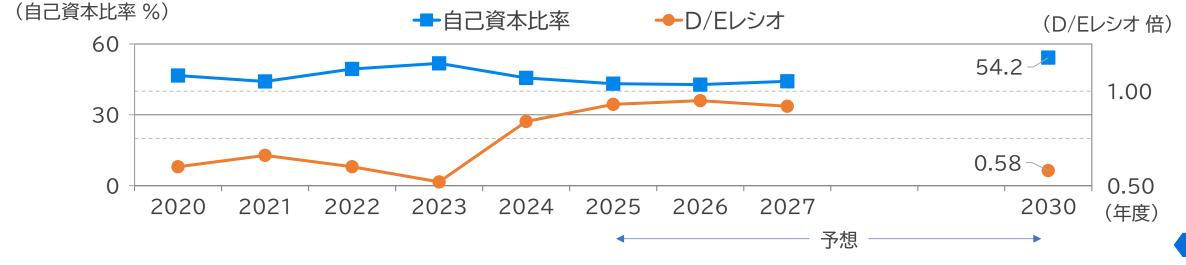






# 大きな設備投資や事業買収を実施しても、財務体質は健全な水準を維持。









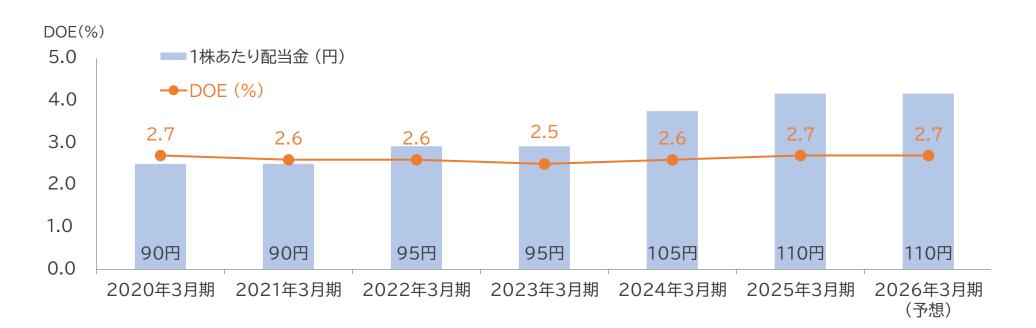
# 株主還元

安定配当を基本方針とし、株主資本配当率(DOE)を2.5%以上と設定。 中期経営計画の進捗状況を見極めたうえで、後半3ヵ年には引き上げを目指す。

1st Stage(2022~2024年度)

株主資本配当率(DOE) 2.5%以上 連結総還元性向 30%以上(3ヵ年平均) 2nd Stage(2025~2030年度)

株主資本配当率 2.5%以上 (累進配当を目指す)





本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用などを行うことはできません。





- ➤ UBEグループが取り組む3つの地球環境問題
  - ①カーボンニュートラル
  - ②サーキュラーエコノミー
  - ③ネイチャーポジティブ

· GHG排出量削減目標(2013年度比)

2030年度 50%削減 (構造改革の早期化により前倒し達成見込み)

2035年度 70%削減

環境貢献型製品・技術の連結売上高比率 60%以上

